

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4473031号
(P4473031)

(45) 発行日 平成22年6月2日(2010.6.2)

(24) 登録日 平成22年3月12日(2010.3.12)

(51) Int.Cl.

F 1

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 4 1 B 13/02

G

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 4 1 B 13/02

K

A 6 1 F 13/49A (2006.01)

A 6 1 F 5/44

D

A 6 1 F 5/44 (2006.01)

A 6 1 F 5/452

A 6 1 F 5/452 (2006.01)

請求項の数 6 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2004-115473 (P2004-115473)
 (22) 出願日 平成16年4月9日(2004.4.9)
 (65) 公開番号 特開2005-296230 (P2005-296230A)
 (43) 公開日 平成17年10月27日(2005.10.27)
 審査請求日 平成19年3月26日(2007.3.26)

(73) 特許権者 000115108
 ユニ・チャーム株式会社
 愛媛県四国中央市金生町下分182番地
 (74) 代理人 100066267
 弁理士 白浜 吉治
 (72) 発明者 三嶋 祥宜
 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531
 -7 ユニ・チャーム株式会社テクニカル
 センター内
 (72) 発明者 中嶋 海陽
 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531
 -7 ユニ・チャーム株式会社テクニカル
 センター内
 審査官 山口 直

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 使い捨ておむつ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに直交する前後方向と幅方向とを有し、前記前後方向には前胴周り被覆域と後胴周り被覆域とこれら両被覆域間に位置する股部被覆域とが形成され、これら各域が内面側とその反対側の外面側とを有し、前記内面側には、前記股部被覆域における前記幅方向の中央部にあって前記前後方向へ延びる体液吸収部と、前記幅方向の両側部にあって前記前後方向へ弾性的に伸長収縮可能に延びており前記体液吸収部を部分的に覆うことが可能な防漏力フとが形成されている使い捨てのおむつにおいて、

前記体液吸収部が、前記後胴周り被覆域に位置する第1後端部と前記股部被覆域に位置する第1前端部とを有して前記後胴周り被覆域と前記股部被覆域とに広がる体液吸収性の第1パネル部と、前記前胴周り被覆域に位置する第2前端部と前記股部被覆域に位置する第2後端部とを有して前記前胴周り被覆域と前記股部被覆域とに広がる体液吸収性の第2パネル部とを有し、前記股部被覆域において、前記第2後端部が前記第1前端部よりも前記おむつ着用者の肌寄りに位置する態様で前記第2パネル部が前記第1パネル部に重なるとともに、これら両パネル部間には前記第1前端部につながる第3前端部と前記第2後端部につながる第3後端部とを有する第3パネル部が介在しており、

前記第1、第2パネル部は、前記着用者の肌と向かい合う第1、第2内面とこれら第1、第2内面の反対面である第1、第2外面とを有し、前記第3パネル部は、前記第1内面と向かい合う第3内面とその反対面である第3外面とを有し、これら第1、第2、第3パネル部のうちの少なくとも前記第1、第2パネル部のそれぞれが体液吸収性材料からなる

10

20

第 1、第 2 集合体と前記第 1、第 2 集合体を覆って前記第 1、第 2 内面を形成する透液性の第 1、第 2 内面シートと前記第 1、第 2 集合体を覆って前記第 1、第 2 外面を形成する透液性および不透液性のいずれかである第 1、第 2 外面シートとを含み、

前記防漏カフは、前記前胴周り被覆域と前記後胴周り被覆域と前記股部被覆域との前記内面側に固定された外側縁部と前記外側縁部よりも前記股部被覆域の幅方向中央部寄りに位置して弾性的に伸長収縮可能な内側縁部とを有し、前記内側縁部が前記前後方向への伸長状態下に前記第 2 パネル部の前記第 2 後端部近傍に接合していることを特徴とする前記おむつ。

【請求項 2】

前記第 3 パネル部は、体液吸収性材料からなる第 3 集合体と前記第 3 集合体を覆って前記第 3 内面を形成する透液性の第 3 内面シートと前記第 3 集合体を覆って前記第 3 外面を形成する透液性および不透液性のいずれかである第 3 外面シートとを含む請求項 1 記載のおむつ。

10

【請求項 3】

前記第 3 パネル部は、前記第 1、第 2 内面シートの延長上にある第 3 内面シートと前記第 1、第 2 外面シートの延長上にある第 3 外面シートとが体液吸収性材料を介在させることなく重なり合うことによって形成されている請求項 1 記載のおむつ。

【請求項 4】

前記第 2 後端部が前記おむつの前後方向の寸法を二等分する中心線よりも前記前胴周り被覆域寄りに位置している請求項 1～3 のいずれかに記載のおむつ。

20

【請求項 5】

前記第 1 パネル部と第 2 パネル部とが重なり合う前記前後方向における寸法が 20～70 mm の範囲にある請求項 1～4 のいずれかに記載のおむつ。

【請求項 6】

前記各域の前記内面側および外面側のいずれかが不透液性シートで形成されている請求項 1～5 のいずれかに記載のおむつ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は使い捨ておむつ、より詳しくは便溜め用ポケットを有する使い捨ておむつに関する。

30

【背景技術】

【0002】

従来、便溜め用ポケットを有する使い捨ておむつは周知である。例えば、特開 2002-315778 号公報（特許文献 1）に開示された使い捨ておむつは、便溜め用ポケットを有するものの一例であって、体液吸収性を有する第 1 の芯材が透液性シートと不透液性シートとでサンドウィッチされてなる大きなパネルが前後胴周り域と股下域とに広がるように形成されている。このおむつはまた、体液吸収性を有する第 2 の芯材が透液性シートで包まれてなり、おむつの内面側において前記の大きなパネルに重なる小さなパネルが前胴周り域と股下域の一部分とに広がるように形成されている。この小さなパネルは、股下域において大きなパネルに形成された便溜め用の凹部の一部分を覆っていて、大きなパネルと小さなパネルとの間には後胴周り域に向かって開口するポケットが形成されている。後胴周り域から股下域に向かって流れる軟便は、便溜めとして作用するこのポケットに流入可能である。

40

【特許文献 1】特開 2002-315778 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

特許文献 1 に開示された使い捨ておむつの便溜め用ポケットでは、凹部の底面から小さなパネルまでの寸法と凹部の幅方向の寸法とがポケットの開口寸法となる。ポケットが大

50

きく口を開くようにするためには、この開口寸法を大きくすればよいのであるが、そのために凹部を深くすると、大きなパネルが厚くなり、おむつは股下域が嵩張るものになる。また、小さなパネルが体液を吸収して、小さなパネルの芯材が膨潤したり、芯材の剛性が低下したりすると、小さなパネルがポケットの開口寸法を小さくするように凹部の内側に垂れ下がり、ポケットへの便の流入を困難にすることがある。

【 0 0 0 4 】

この発明が課題とするところは、特許文献 1 に開示されているように股下域でパネル部が重なり合うことによって便溜め用ポケットが形成されている使い捨ておむつにおいて、そのポケットが容易に大きく開口できるように改良を施すことにある。

【課題を解決するための手段および発明の効果】

10

【 0 0 0 5 】

前記課題を解決するために、この発明が対象とするのは、互いに直交する前後方向と幅方向とを有し、前記前後方向には前胴周り被覆域と後胴周り被覆域とこれら両被覆域間に位置する股部被覆域とが形成され、これら各域が内面側とその反対側の外面側とを有し、前記内面側には、前記股部被覆域における前記幅方向の中央部にあつて前記前後方向へ延びる体液吸収部と、前記幅方向の両側部にあつて前記前後方向へ弾性的に伸長収縮可能に延びており前記体液吸収部を部分的に覆うことが可能な防漏カフとが形成されている使い捨てのおむつである。

【 0 0 0 6 】

かかる使い捨ておむつにおいて、この発明が特徴とするところは、次のとおりである。前記体液吸収部は、前記後胴周り被覆域に位置する第 1 後端部と前記股部被覆域に位置する第 1 前端部とを有して前記後胴周り被覆域と前記股部被覆域とに広がる体液吸収性の第 1 パネル部と、前記前胴周り被覆域に位置する第 2 前端部と前記股部被覆域に位置する第 2 後端部とを有して前記前胴周り被覆域と前記股部被覆域とに広がる体液吸収性の第 2 パネル部とを有し、前記股部被覆域において、前記第 2 後端部が前記第 1 前端部よりも前記おむつ着用者の肌寄りに位置する態様で前記第 2 パネル部が前記第 1 パネル部に重なるとともに、これら両パネル部間には前記第 1 前端部につながる第 3 前端部と前記第 2 後端部につながる第 3 後端部とを有する第 3 パネル部が介在している。前記第 1、第 2 パネル部は、前記着用者の肌と向かい合う第 1、第 2 内面とこれら第 1、第 2 内面の反対面である第 1、第 2 外面とを有し、前記第 3 パネル部は、前記第 1 内面と向かい合う第 3 内面とその反対面である第 3 外面とを有する。これら第 1、第 2、第 3 パネル部のうちの少なくとも前記第 1、第 2 パネル部のそれぞれが体液吸収性材料からなる第 1、第 2 集合体と前記第 1、第 2 集合体を覆って前記第 1、第 2 内面を形成する透液性の第 1、第 2 内面シートと前記第 1、第 2 集合体を覆って前記第 1、第 2 外面を形成する透液性および不透液性のいずれかである第 1、第 2 外面シートとを含む。前記防漏カフは、前記前胴周り被覆域と前記後胴周り被覆域と前記股部被覆域との前記内面側に固定された外側縁部と前記外側縁部よりも前記股部被覆域の幅方向中央部寄りに位置して弾性的に伸長収縮可能な内側縁部とを有し、前記内側縁部が前記前後方向への伸長状態下に前記第 2 パネル部の前記第 2 後端部近傍に接合している。

20

30

【 0 0 0 7 】

かように構成される使い捨てのおむつでは、股部被覆域において第 1 パネル部に第 2 パネル部が重なることによって便溜め用ポケットが形成される。そのポケットでは、伸長状態にある防漏カフと第 2 パネル部とが第 2 パネル部の第 2 後端部近傍で接合しているから、おむつが着用されて前後方向において湾曲すると、防漏カフが収縮して第 2 パネル部の第 2 後端部を第 1 パネル部から離間するように吊り上げるので、ポケットが大きく開口する。第 2 パネル部は、吊り上げられた状態にあるから、体液を吸収しても、ポケットの開口を小さくするように作用することがない。

40

【 0 0 0 8 】

請求項 2 に係るこの実施態様の一つにおいて、前記第 3 パネル部は、体液吸収性材料からなる第 3 集合体と前記第 3 集合体を覆って前記第 3 内面を形成する透液性の第 3 内面シ

50

ートと前記第3集合体を覆って前記第3外面を形成する透液性および不透液性のいずれかである第3外面シートとを含む。

【0009】

かかる態様のおむつでは、股部被覆域を中央にして前胴周り被覆域と後胴周り被覆域とに延びる体液吸収部を股部被覆域においてZ字形を呈するように折り重ねることによって第1、第2、第3パネル部を簡単に得ることができる。

【0010】

請求項3に係るこの発明の実施態様の一つにおいて、前記第3パネル部は、前記第1、第2内面シートの延長上にある第3内面シートと前記第1、第2外面シートの延長上にある第3外面シートとが体液吸収性材料を介在させることなく重なり合うことによって形成されている。かかる態様のおむつでは、第3パネル部が体液吸収性材料を含むことがないので、股下域は嵩張ることがない。

10

【0011】

請求項4に係るこの発明の実施態様の一つにおいて、前記第2後端部が前記おむつの前後方向の寸法を二等分する中心線よりも前記前胴周り被覆域寄りに位置している。かように構成されるおむつでは、第2パネル部の第2後端部が股部被覆域において肛門と性器との間に位置して、後胴周り被覆域から前胴周り被覆域方向へ向かう軟便の流れを止めるとともに、前胴周り被覆域から後胴周り被覆域方向へ向かう尿の流れを止めることができる。かかるおむつでは、軟便と尿とが混合されたり、軟便によっておむつ着用者の性器近傍を汚したりすることがない。

20

【0012】

請求項5に係るこの発明の実施態様の他の一つにおいて、前記第1パネル部と第2パネル部とが重なり合う前記前後方向における寸法が20～70mmの範囲にある。かように構成されるおむつでは、第1パネル部と第2パネル部とが重なり合う寸法を適宜に選択することによって、第1、第2、第3パネル部による股部被覆域の嵩張りを小さく抑えることが可能になる。

【0013】

請求項6に係るこの発明の実施態様の他の一つにおいて、前記各域の前記内面側および面側のいずれかが不透液性シートで形成されている。このように構成されるおむつでは、各域に吸収された体液が各域を透過しておむつの外へ漏れることがない。

30

【発明を実施するための最良の形態】

【0014】

添付の図面を参照して、この発明に係る使い捨ておむつの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0015】

図1に部分破断図で示された使い捨ておむつ1は、双頭矢印Aで示される前後方向と、双頭矢印Aに直交する双頭矢印Bで示される幅方向とを有し、カバーシート2と体液吸収性パネル3とを含んでいる。カバーシート2は、前後方向Aに長い矩形のもので、前胴周り被覆域6と、後胴周り被覆域7と、股部被覆域8とを有し、前後胴周り被覆域6、7のそれぞれには幅方向Bへ延びる一对の前方翼部11と一对の後方翼部12とが形成されている。カバーシート2はまた、おむつ着用者の肌と向かい合う内面13と、着衣と向かい合う外面14とを有し、その内面が不透液性プラスチックフィルムで形成され、外面がそのプラスチックフィルムにラミネートされた不織布で形成されている。カバーシート2において、前後方向Aへ延びる両側縁部16と幅方向Bへ延びる後端縁部19とでは、脚周り弾性部材17と胴周り弾性部材20とがこれらプラスチックフィルムと不織布との間にあって、これらの少なくとも一方に伸長状態で接合している。後方翼部12の内面には、粘着剤等からなるファスナー18が設けられており、おむつ1を着用するときには、このファスナー18を介して後方翼部12をカバーシート2の外面14の所要部位または前方翼部11の外面に剥離可能に止着することができる。

40

【0016】

50

吸収性パネル 3 は、カバーシート 2 の内面 1 3 の側に設けられているもので、後胴周り被覆域 7 と股部被覆域 8 とに広がる第 1 パネル部 2 1 と、前胴周り被覆域 6 と股部被覆域 8 とに広がる第 2 パネル部 2 2 と、これら両パネル部 2 1 , 2 2 間に介在する第 3 パネル部 2 3 とを有する。第 1、第 2、第 3 パネル部 2 1 , 2 2 , 2 3 は、前後方向 A において一連を成すもので、体液の透過性と拡散性とにすぐれた内側および外側拡散性シート 2 6 , 2 7 と、これら拡散性シート 2 6 , 2 7 間に介在する体液吸収性材料の集合体である芯材 2 8 と、内側拡散性シート 2 6 を覆う体液透過性のトップシート 2 9 とで形成されている。吸収性パネル 3 はまた、前後方向 A に延びる両側縁部 3 1 と幅方向 B に延びる前後端縁部 3 2 a , 3 2 b とを有し、側縁部 3 1 それぞれが防漏カフ 3 3 によって覆われている。防漏カフ 3 3 は、帯状の不織布、好ましくは撥水性ないし不透液性の帯状の不織布からなるもので、外側縁部 3 4 と、外側縁部 3 4 よりもおむつ 1 の幅を二等分する中心線 C - C 寄りに位置する内側縁部 3 6 と、前端縁部 3 7 と、後端縁部 3 8 とを有し、外側縁部 3 4 と前後端縁部 3 7 , 3 8 とがトップシート 2 9 またはカバーシート 2 に接着または溶着により固定されている。また、内側縁部 3 6 には弾性部材 4 1 が前後方向 A に伸長された状態で接合している。ただし、図のおむつ 1 は、脚周り弾性部材 1 7 とカフ 3 3 の弾性部材 4 1 とが収縮することによって、前後方向 A において湾曲した状態にある。

【 0 0 1 7 】

図 2 は、図 1 における I I - I I 線矢視図であって、I I - I I 線は中心線 C - C に一致している。カバーシート 2 の内面 1 3 に設けられた体液吸収部 3 において、第 1 パネル部 2 1 は後胴周り被覆域 7 に第 1 後端部 4 6 を有し、股部被覆域 8 に第 1 前端部 4 7 を有する。第 2 パネル部 2 2 は、前胴周り被覆域 6 に第 2 前端部 4 8 を有し、股部被覆域 8 に第 2 後端部 4 9 を有する。第 3 パネル部 2 3 は、第 1 前端部 4 7 につながる第 3 前端部 5 1 と、第 2 後端部 4 9 につながる第 3 後端部 5 2 とを有する。第 1 パネル部 2 1 と第 2 パネル部 2 2 とが重なり合うおむつの前後方向における寸法 2 0 ~ 7 0 mm の範囲にあることが好ましい。また、第 1 パネル部 2 1 は、トップシート 2 9 で形成された第 1 内面 2 1 a と、外側拡散性シート 2 7 で形成された第 1 外面 2 1 b とを有し、その第 1 外面 2 1 b はホットメルト接着剤（図示せず）を介してカバーシート 2 の内面 1 3 に接合している。第 2 パネル部 2 2 は、トップシート 2 9 で形成された第 2 内面 2 2 a と、外側拡散性シート 2 7 で形成された第 2 外面 2 2 b とを有し、その外面 2 2 b は、第 2 前端部 4 8 の近傍がホットメルト接着剤（図示せず）を介してカバーシート 2 の内面 1 3 に接合する一方、股部被覆域 8 において第 2 後端部 4 9 の近傍が第 1 パネル部 2 1 における第 1 前端部 4 7 の上方に位置している。股部被覆域 8 において、第 1 パネル部 2 1 と第 2 パネル部 2 2 との間に介在する第 3 パネル部 2 3 は、第 1 パネル部 2 1 と第 2 パネル部 2 2 とにおけるトップシート 2 9 の延長上にあるトップシート 2 9 で形成された第 3 内面 2 3 a と、第 1 パネル部 2 1 と第 2 パネル部 2 2 とにおける外側拡散性シート 2 7 の延長上にある外側拡散性シート 2 7 で形成された第 3 外面 2 3 b とを有し、その第 3 内面 2 3 a は、第 1 パネル部 2 1 の第 1 内面 2 1 a と離間接触可能に向かい合い、その第 3 外面 2 3 b は第 2 パネル部 2 2 の第 2 外面 2 2 b と向かい合っている。好ましいおむつ 1 において、第 2 パネル部 2 2 の第 2 外面 2 2 b を形成している外側拡散性シート 2 7 と第 3 パネル部 2 3 の第 3 外面 2 3 b を形成している外側拡散性シート 2 7 とは、ホットメルト接着剤（図示せず）を介して互いに接合している。カバーシート 2 の内面 1 3 に接合していない第 2 パネル部 2 2 の第 2 後端部 4 9 近傍とここに重なる第 3 パネル部 2 3 とは、双頭矢印 E 方向へ旋回して第 1 パネル部 2 1 の第 1 内面 2 1 a に対して離間したり接近したりすることが可能であり、図示の如く離間したときには、第 1 パネル部 2 1 と第 3 パネル部 2 3 との間に、後胴周り被覆域 7 に向かって開口するポケット 5 6 を形成する。

【 0 0 1 8 】

このポケット 5 6 では、図 1 に示されるように、第 2 パネル部 2 2 の第 2 後端部 4 9 と、この第 2 後端部 4 9 の一部分を覆うカフ 3 3 の内側縁部 3 6 とが鎖線で示す部位 6 1 において接着剤 6 2 を介して互いに接合している（図 3 を併せて参照）。かようなポケット 5 6 は、カバーシート 2 を前後方向 A に伸展して平面状にすると同時に、弾性部材 4 1 を

10

20

30

40

50

前後方向に伸長してカフ 33 の内側縁部 36 を体液吸収部 3 のトップシート 29 の上に倒伏させ、かかる状態にあるカフ 33 と第 2 パネル部 22 とを部位 61 で接合することによって得られる。カフ 33 と第 2 パネル部 22 とをこのように接合した後に弾性部材 41 と脚周り弾性部材 17 とが収縮すると、おむつ 1 が図 1, 2 のように湾曲し、カフ 33 は内側縁部 36 を上にしてカバーシート 2 の内面 13 から起立する方向へ動き、部位 61 においてカフ 33 に接合している第 2 パネル部 22 の第 2 後端部 49 とここにつながる第 3 パネル部 23 とを吊り上げる。カフ 33 によるこのような作用の結果として、ポケット 56 が大きく開口する。第 2 パネル部 22 と第 3 パネル部 23 とは、軟便と尿との前後方向 A おける流れを止めて軟便を便溜めであるポケット 56 に流入させ、軟便と尿とが混合されることを防ぐように作用するもので、これら両パネル部 22, 23 がつながる第 2 パネル部 22 の後端 22d (図 1, 2 参照) は、おむつ 1 の前後方向の寸法を二等分する線 P-P と、線 P-P とおむつ 1 の前端 6a との間の寸法を二等分する線 Q-Q との間に位置させ、その後端 22d が確実に着用者の肛門と性器との間に位置するようにすることが好ましい。

10

【0019】

図 3 は、図 1 の III-III 線矢視図である。外側縁部 34 がカバーシート 2 の内面 13 に固定されている防漏カフ 33 は、弾性的に伸長収縮可能な内側縁部 36 の部位 61 が接着剤 62 を介して第 2 パネル部 22 の第 2 後端部 49 に接合している。ポケット 56 は、第 1 パネル部 21 が下方に向かって凸となるように湾曲し、カフ 33 によって吊り上げられた第 2 パネル部 22 と第 3 パネル部 23 とが上方に向かって凸となるように湾曲することによって、大きく開口している。

20

【0020】

このようなポケット 56 を有する体液吸収部 3 は、第 1、第 2、第 3 パネル部 21, 22, 23 が前後方向 A に平坦に延びた状態のパネル (図示せず) を用意し、このパネルを Z 字形を呈するように図 2 の如く股部被覆域 8 で折り重ねることによって得ることができる。

【0021】

図 4 は、この発明の実施態様の一例を示す図 2 と同様な図である。このおむつ 1 における吸収性パネル 3 も、第 1、第 2、第 3 パネル部 21, 22, 23 を有するが、図示例の第 3 パネル部 23 は芯材 28 を含むことがなく、互いに重なり合うトップシート 29 と内側拡散性シート 26 と外側拡散性シート 27 とによって形成されている。吸収性パネル 3 は、図 2 のそれと同じように、第 1、第 2、第 3 パネル部が平坦に延びた状態のパネルを股部被覆域 8 において Z 字形に折り重ねることによって得ることができる。

30

【0022】

図 5 もまた、この発明の実施態様の一例を示す図 2 と同様な図である。このおむつ 1 では、吸収性パネル 3 の内面を形成している透液性のトップシート 29 が、第 1 パネル部 21 の第 1 内面 21a を形成する第 1 トップシート 29u と、第 2 パネル部 22 の第 2 内面 22a を形成する第 2 トップシート 29v と、第 3 パネル部 23 の第 3 内面 23a を形成する第 3 トップシート 29w とからなる。また、吸収性パネル 3 の外面が外側拡散性シート 27 に代わって第 1 外面 21b を形成する第 1 外面シート 30u と、第 2 外面 22b を形成する第 2 外面シート 30v と、第 3 外面 23b を形成する第 3 外面シート 30w とからなる。第 1、第 2、第 3 トップシート 29u, 29v, 29w には、それぞれ性状の異なる不織布やフィルムを使用することができる。例えば第 1 トップシート 29u には、軟便が芯材 28 に容易に接触し得るような比較的大きな面積の繊維間隙を有する不織布や比較的面積の大きな開孔を有するプラスチックフィルムを使用し、第 2 トップシート 29v には尿の透過性が良くて芯材 28 からの尿の逆流を抑えることができる繊維間隙の小さい不織布や開孔面積の小さいプラスチックフィルムを使用することができる。第 1、第 2、第 3 外面シート 30u, 30v, 30w それぞれには性状の異なる不織布やフィルムを使用することができるが、性状の同じ不織布やフィルムも使用することができる。この例のおむつ 1 において、第 3 パネル部 23 が図 4 に例示の如く芯材 28 を含まない場合には、

40

50

第 1、第 2 トップシート 29 u, 29 v を透液性のものにして第 3 トップシート 29 w のみを不透液性のものにすることができる。

【 0 0 2 3 】

この発明に係るおむつ 1 において、体液吸収性の芯材 28 には、粉碎パルプや粉碎パルプと高吸水性ポリマー粒子や繊維との混合物等からなる体液吸収性材料の集合体を使用される。この芯材 28 をサンドウィッチする内側拡散性シート 26 と外側拡散性シート 27 とにはティッシュペーパー等の体液透過性と体液拡散性とにすぐれたシートが使用される。ただし、内側拡散性シート 26 は、それを省くことが可能であり、図 2 の外側拡散性シート 27 は、不透液性のプラスチックフィルムに代えることができる。外側拡散性シート 27 を不透液性のプラスチックフィルムに代えた吸収性パネル 3 が使用される場合のおむつ 10

【産業上の利用可能性】

【 0 0 2 4 】

この発明によれば、便溜め用ポケットを大きく開口させることが可能な使い捨ておむつの生産が可能になる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 5 】

【図 1】使い捨ておむつの部分破断斜視図。

20

【図 2】図 1 の I I - I I 線矢視図。

【図 3】図 1 の I I I - I I I 線矢視図。

【図 4】実施態様の一例を示す図 2 と同様な図。

【図 5】実施態様の他の一例を示す図 2 と同様な図。

【符号の説明】

【 0 0 2 6 】

- 1 使い捨ておむつ
- 3 体液吸収部
- 6 前胴周り被覆域
- 7 後胴周り被覆域
- 8 股部被覆域
- 13 内面側
- 14 外面側
- 16 側縁部
- 21 第 1 パネル部
- 21 a 第 1 内面
- 21 b 第 1 外面
- 22 第 2 パネル部
- 22 a 第 2 内面
- 22 b 第 2 外面
- 23 第 3 パネル部
- 23 a 第 3 内面
- 23 b 第 3 外面
- 28 集合体
- 29 透液性シート
- 33 防漏カフ
- 34 外側縁部
- 36 内側縁部
- 46 第 1 後端部
- 47 第 1 前端部

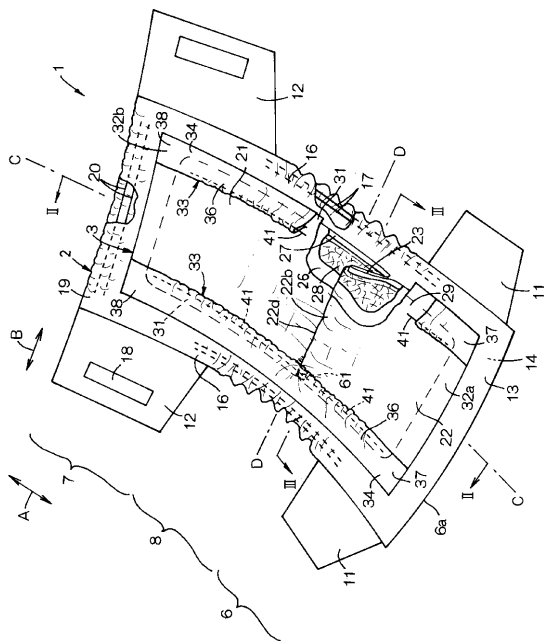
30

40

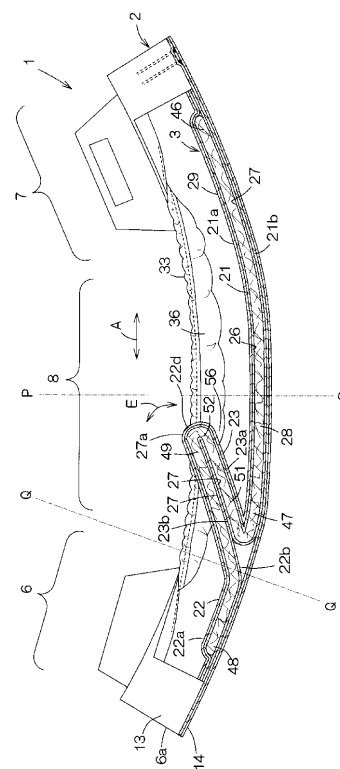
50

- 4 8 第 2 前端部
 4 9 第 2 後端部
 5 1 第 3 前端部
 5 2 第 3 後端部
 A 前後方向
 B 幅方向
 C - C 中心線

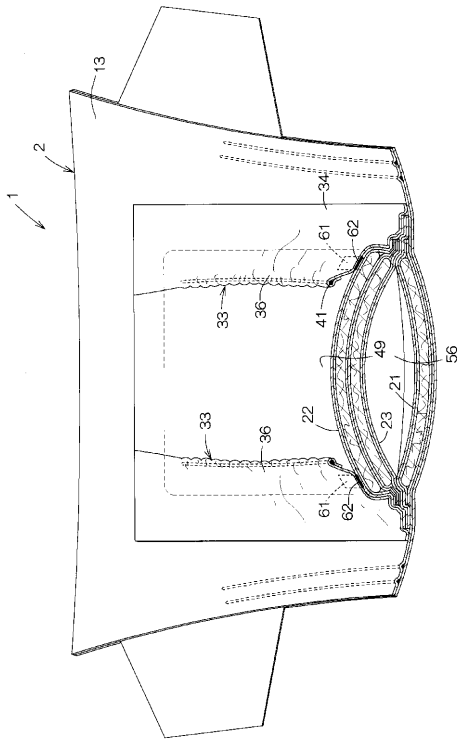
【図 1】



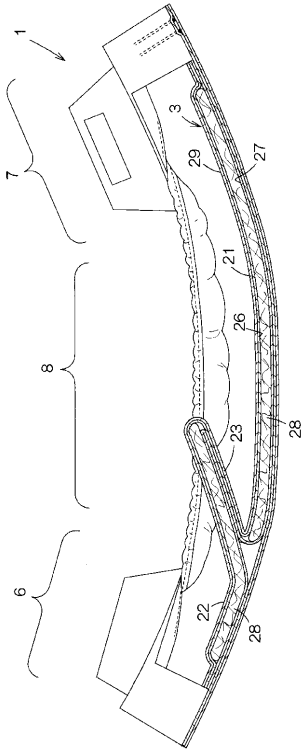
【図 2】



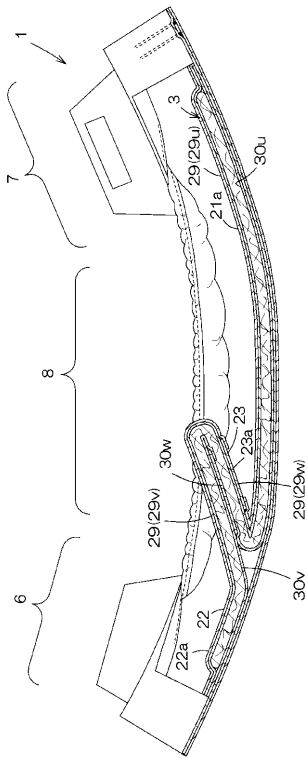
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2002-325795(JP,A)
特開2002-177329(JP,A)
特開2002-345871(JP,A)
特開2003-079664(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A61F	5/44
A61F	5/452
A61F	13/15
A61F	13/49
A61F	13/494